



自立支援サポート会議(中部圏域) 2021 年度報告

中部圏域の医療・介護・福祉職の専門職が集まり、高齢者の自立支援を多職種で考える地域ケア会議として開催しました。参加職種はケアマネジャー・理学療法士・訪問看護・管理栄養士・病院相談員・薬剤師・福祉用具相談員・生活支援コーディネーター・訪問介護・市役所・地域包括と多職種で開催しています。

2021 年度は参集型で 8 月(36 名参加)、10 月(39 名)、12 月(41 名)、ZOOM で 2 月(29 名)に開催しました。2021 年度は地域包括支援センターの事例に加え、居宅介護支援事業所のケアマネジャーの事例も開始しました。

《 事例へのアイデア・アドバイス内容紹介 》

- 8 月の事例:55 歳・女性・要支援 2 脳出血後遺症 左片麻痺で拘縮が強くなってきた方。IADLの維持と高齢の義父の支援をしたい希望を持っている。しかし、なかなかリハビリに取り組みず肥満となっている。

アドバイス:家族からの声かけ、目標を低く設定し寝る機会を作る。拘縮は筋緊張の可能性もあるので、医師の診察を受ける、筋肉と気分がリラックスする時間を作る。レンジの活用で野菜を摂るようにする。歩き方の確認と、壁に目印をつけることで壁にぶつかる事を回避できることがある。

- 10 月の事例(CMからの事例): 71 歳・女性・要支援 2 膝後縦靱帯損傷で歩行障害のある方。痛みのコントロールが必要だが、本人の考え方から医療へのつながりが難しい、自信を持って外出できるようになりたい希望を持っている。

アドバイス:本人のキャラクターから、焦らず天気や食事の話から徐々に本題に入り、趣味へのつながりや便秘の改善をきっかけとしたリハビリへの動機付けを行なう。本人の価値観を知れるよう話を聴く姿勢をもつ。痩せに注目し、食事の内容の確認と栄養剤も含めてたんぱく質を意識した食事内容となるよう気をつける。

- 12 月の事例:77 才・女性・事業対象者 肥満と膝の痛み、筋力低下がある方。

前のように旅行したい希望がある。

アドバイス:歩行より負荷の少ない自転車での外出や有酸素運動を専門職からアドバイスを受ける。カロリー制限は 0 を目指すのではなく、例えば飲料の種類を変えて、同じ味でもカロリーが半分のものを選択する。旅行をしたい希望から、目標を近場に設定してスタートにする。



- 2 月の事例:85 歳・男性・要支援1 ヘルニアでしびれ、腎機能低下で浮腫があり動けなくなった。透析直前になってきているが食事内容が心配な方。透析にならず、今の自由で家族・サービスの支援のある暮らしを望んでいる。

アドバイス:食事内容の改善が第一、たんぱく質を中心とした食事となるよう本人が好きな魚料理の活用・管理栄養士からの指導を受ける・保健センターの栄養教室や在宅での食事指導を検討。運動の手段として本人が好きな買い物や犬の散歩中のおしゃべりなどを通して楽しみながら行えることを提案。

《 情報提供 》

12 月 山尻町地区の「住民の集居の場」の取り組み紹介

《 事例提供者の声 》

「提出して良かった」の返答が 100%

●感想

- ・自分の中に無かった対応策を教えてもらえた
- ・事例を見直すいい機会になった
- ・専門職の視点から意見をもらえ勉強になった
- ・専門外の知識を得る事ができた
- ・今後のアセスメントに活かせる

●会議への意見

- ・ケアマネは1人で行う部分がなく、常に他職種と連携しているため、こういう交流の場や多職種の方と交流できる機会は無貴重
- ・支援に役立つので多くの方が事例提供すると良いと思った

《 参加者の声 》

「良かった」の返答が 70～90%

●主な感想

- ・多職種との交流機会、専門職の視点の意見が役に立つ
- ・視点の幅が広がる
- ・知らない情報を得られる
- ・回を重ねると適切に質問・アドバイス出しができるようになってきた
- ・ZOOM だと集中力が切れる
- ・ZOOM の際、PCの調子が悪いと充分意見交換が出来ない

今後もざっくばらんに、多職種で自立支援について学んでいきたいと思っています。

2022 度は 4 月 14 日開催済、次回 6 月 23 日(木)・8 月 18 日(木)・10 月 12 日(水)
12 月 15 日(木)・2 月 9 日(木)の 13 時 30 分からを予定しています。

皆さんの参加をお待ちしています。

